

赤十字奉仕団だより

赤十字の基本原則

人道、公平、中立、独立、奉仕、單一、世界性

第38号



写真 〔左上〕ボランティア基礎研修 〔右上〕百万石まつり 〔中央〕救護ボランティア基礎研修
〔左下〕防災教育指導者養成研修（本社） 〔右下〕金沢地区赤十字のつどい（バザー）

「世界の子どもを救おう!」チャリティーバザー

・加賀地区「赤十字のつどい」を旧鶴来町で開催

加賀地区 実行委員長 金丸 和弘

5月19日（日）、鶴来ショッピングセンターコアで開催しました。各奉仕団の方々と話し合いを重ねながら積み上げた工夫が活かされて、其々の奉仕団が一つのチームとしてまとまって意欲的に取り組みつつ、6奉仕団が大きな和の中で親睦を深めることができ、来客の賑わいとともに、刺激的で楽しい、意義深い一日となりました。



・金沢地区「赤十字のつどい」を終えて

金沢地区 実行委員 谷内 賢正

今年は改元の影響で、例年より遅く7月7日（日）にアルプラザ金沢で実施しました。例年売り場が混乱するため、今回は一方通行で運営しました。何より良かったのは、精算を一か所にしたことだと思います。値段を読み上げる人、計算してお金を受け取る人、品物を袋に詰めてお渡しする人と、流れ作業がスムーズにでき良かったです。

手拭いやバスタオルが人気と聞いていましたが、大量に残り意外でした。また、衣類も大量に余りましたが、これはデザインや体形に合わせなければならず、大変難しいと思いました。関係者の皆様、大変お疲れ様でした。



次回は10月5日（土）、能登地区（七尾市、旧サンライフプラザ）で開催予定です。
ぜひお立ち寄りください。

「赤十字ボランティア基礎研修」を受講して

輪島市赤十字奉仕団委員長 下 善裕

これまで、たくさんの方々と関わり災害ボランティアや子育て支援、防災支援、障害者支援などの活動を続けてきましたが、あらためて今回の赤十字ボランティア基礎研修を受講したことで、基本原則を再確認し、奉仕団相互の結束・共有の大切さを感じました。

私たちは普段の暮らしの中で赤十字奉仕団としての自覚と思いやりの精神さえ忘れなければ、とっさの場面でも慌てることなく落ちついた気持ちで行動できると考えています。さり気なく人道という使命を全うできる人間として、自信をもって活動しようと団員相互の気持ちを確認できました。



赤十字奉仕団中央委員会に参加して

赤十字奉仕団石川県支部委員会 委員長 松本 明

5月30日（木）～31日（金）に日本赤十字社本社にて行われ、役員改選では岩手県の増沢委員が再任されました。

討議のはじめに、昨年の各ブロック委員長会議等の報告があり、昨年本県で行われた会議を報告させていただきました。また、令和元年度の日本赤十字社の事業計画（基本方針）の説明があり、地域共生社会の実現に向けた地域づくりの講演と、同テーマを活用した防災活動の体験で、七尾市奉仕団の事例が紹介されました。

分科会のテーマも「支えあい、見守り、つなげる」について奉仕団の役割と活動を考えるに絞られ、地域の実情と展望を話し合い、今後の活動の指針となる様気持ちを新たにしました。

防災教育指導者養成研修会を受講して

赤十字安全法奉仕団 副委員長 寺西 好紀

7月26日（金）から28日（日）までの3日間、「令和元年度 日本赤十字社防災教育事業指導者養成研修会」に参加する機会を頂きました。

開催場所は本社で、全国各地から職員及びボランティアの方々計49名が参加しました。

研修の内容は、地域コミュニティの一般成人市民の方々を対象とした防災教育事業を実施する為の指導者養成講習です。

概ね次の4つの構成となっております。

1. 日本赤十字社が実施する防災教育事業
2. 災害への備え
3. 災害エスノグラフィー
4. 災害図上訓練 (DIG ディグ) ※Disaster Imagination game

座学に始まり、グループワーク、発表、指導者側の立場での運営訓練を行いました。とても良いグループメンバーに恵まれ、3日間あつという間でとても充実した研修でした。

今回、この研修で学んで得たものを、今後の防災教育事業活動の普及に役立て行きたいと思います。



輪島競歩で救護活動を実施して

赤十字安全法奉仕団 山田 千代子

4月13日（土）～14日（日）に、「第58回全日本競歩輪島大会」で救護活動を行いました。固定AEDの周辺で活動したほか、応急手当セットを装備し自転車でコースを巡回しました。

地元小学生の部では、一生懸命な眼差しで頑張る姿が印象的でした。50kmでは、海外の選手や審判員も多く改めて世界レベルの大会だと感じました。あまりのスピードに、スピーカーから聞こえる解説のみが情報源でした。本部担当として、マメ潰れや足の痙攣、脱水、ゴールで倒れ込む選手の救護や搬送にあたりました。なんと！男女とも日本新記録が出て、能美市出身の鈴木選手の快挙を取りあげた翌日のテレビに、赤十字ベストを着た私がチラッと映っていました。貴重な経験をありがとうございました。



金沢百万石まつりで救護＆迷子捜索ボランティア

青年赤十字奉仕団 書記 矢木 弓理子

6月1日（土）、金沢百万石まつりの救護＆迷子支援活動に参加しました。百万石まつりは、加賀藩祖 前田利家公の金沢城入城にちなんで開催されるお祭りです。私たちは、傷病者や迷子がいないか、本部と連携しながら、安全法、



無線、柔整、青年、学生（星稜・北大）の奉仕団混合チームで沿道をパトロールしました。別班ではありますが、高校JRCもパトロールしました。



5月18日（土）に、AEDの使い方や応急手当等の事前研修を受けて臨みましたが、幸いこれらの技術を発揮する場はなく、無事に活動を終えることができました。

ごあいさつ



日本赤十字社石川県支部
事務局長 表 正人

赤十字奉仕団の皆様には、日頃より赤十字活動にご尽力を賜り心から感謝申し上げます。

私はトマトの丸かじりが大好きです。緑のへたの青臭い香りを嗅ぎながらかぶりつく真っ赤なトマトの瑞々しい食感がたまりません。へたをとつてスライスしたトマトとは別の野菜としか思えません。日本赤十字社が掲げる「人間を救うのは、人間だ。」とのスローガンを実践するには、人との信頼関係の構築が求められます。単なるうわべの付合いではなく「人も丸かじり」することで相手の人格を尊重し、自己を更に磨き上げることにより、真に心と心が繋がるものと確信しています。これからは皆様とともに奉仕の心で様々な取組にチャレンジしようと決意しています。



日本赤十字社石川県支部
事業推進課長 富樫 純治

施設間異動により、金沢赤十字病院から石川県支部へ配属となりました。皆様にはできるだけ早く顔を覚えていただけるように各種事業には積極的に参加したいと考えております。

ご承知のように石川県支部では、救急法等の講習、災害救護、救援物資の備蓄、青少年赤十字の育成、国際活動等の様々な事業を行っております。これら事業は、赤十字活動に参加していただける奉仕団の皆様によって支えられています。これからも支部の事業にご理解いただき、皆様と共に活動して行きたいと考えておりますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

あとがき

8月から9月にかけて、大雨や台風により甚大な被害がありました。被災地の少しでも早い復旧復興を願っております。

編集委員 松本、富澤、田中、村中、吉本